

TAKE
FREE

地方独立行政法人
三重県立総合医療センター
MIE PREFECTURAL GENERAL MEDICAL CENTER

vol.82
令和2年 夏号

医療センターニュース



特集／インタビュー

地域を支える
当院のアンサンブヒーロー

news

消化器・一般外科領域の
内視鏡外科学会技術認定
を取得

event

生活習慣病教室について

当院の

地域を支える アンサング ヒーロー



人気漫画がドラマ化され、注目が集まっている病院薬剤師。当院にも、薬そして患者さんと向き合い頑張ってくれているアンサングヒーローたちがいます。今回は彼らの仕事、それに取り組む姿をご紹介します。

※アンサングヒーロー (unsung hero) = 「縁の下の力持ち」

◎病院薬剤師とは

病院で働く薬剤師のこと。入院患者さんの対応や救命救急現場での業務など薬局とは異なる環境のため、業務にも違いがあります。

主な仕事

- ・調剤業務
- ・病棟業務

今年入職 期待の新人薬剤師



青木薬剤師

好きなこと ● ごろごろしながらゲームをすること・畑仕事

座右の銘 ● 何事も楽しく

薬剤師になろうと思ったきっかけ ● 母が看護師をしていたこともあり、得意な数学・化学を生かして医療の中の薬剤師を目指しました。

目標 ● 今は正直、仕事量がすごいなと感じています(笑)何かを極めるスペシャリストも良いですが、色々な領域の仕事ができるジェネラリストを目指しています。そのためにも、まずは一人立ちができるように頑張ります!

好きなこと ● 嵐のDVD鑑賞・犬の散歩

座右の銘 ● 人との出会いを大切に

薬剤師になろうと思ったきっかけ ● 家族に医療従事者がいるので、自分も医療に携わりたいと思っていました。薬の体への作用に興味があり、自分が病気になったときに薬剤師の方が丁寧に説明してもらったことがきっかけです。

目標 ● 患者様はもちろん、医師や看護師の方からも頼られる薬剤師になりたいと思っています。先輩薬剤師の方の姿を見て、自分ならどうするかと考えながらしっかり勉強したいと思います。

好きなこと ● 料理・猫と戯れること

座右の銘 ● 人生なるようになる

薬剤師になろうと思ったきっかけ ● 体調が悪い時に、その症状が薬によって緩和されたことがきっかけで薬に興味を持ちました。そこから薬剤師という職業の存在を知り、目指そうと思いました。

目標 ● 「薬のことはこの人に聞けばいい!」と思ってもらえるようになりたいです。学校では詰め込んで詰め込んで勉強したつもりでしたが、現場は応用が多く、まだまだ力不足です。知識はもちろん人から聞いてもらいやすい雰囲気も持てるよう頑張ります。



杉村薬剤師



寺尾薬剤師

知ってほしい！ 病院薬剤師のお仕事

調剤業務や病棟業務が仕事の病院薬剤師。その中には問い合わせの対応や服薬指導など細かな業務がたくさんあります。当院では担当する業務内容によって担当が分かれています。

調剤業務

● 調剤室・注射室での業務

調剤 処方箋に基づき、医薬品を調剤

「処方箋と照らし合わせ中身が誤っていないか」「処方内容が患者さんにとって適切な投与量・投与速度・服用方法かどうか」をチェック

監査

払い出し

薬を渡す（翌日に使用する薬や臨時で早急に使用する薬の準備）

● 抗がん剤業務

抗がん剤の払い出しや調剤、患者さんへの説明を行う。



● 院外薬局対応

FAXで院外薬局からの問い合わせが届き、患者さんの症状や状態に適切な量・飲み方か、などをチェック。

※当院では、院外処方箋に検査値を付記しているため、院外薬局の方も患者さんの腎・肝機能や電解質の値を確認することができます。それに基づいて問い合わせをいただくことがあります。

● TDM（治療薬物モニタリング）

薬の血中濃度を調べ、最適な用量や投与法を設定する。

● ドラッグインフォメーション業務

医師や看護師からの薬に関する問い合わせの対応。文献だけでは分からないことは製薬会社へ問い合わせ、その返答や様々な情報を総合的に判断。

[例えば…AとBの薬をなんとか1本の点滴の管で投与することはできないか？
→薬の配合を確認し、問題がある場合は回避方法を提案する。]

● カート業務

手術室や他部門でよく使用する薬をカートに取り揃えたり、点検や管理を定期的に行う。

● 持参薬の鑑別

患者さんが持参された薬を調べ、何を服用されているのか、重複している薬はないか、入院中に切れた場合は当院では何を処方するのかなどを記載した持参薬鑑別書を作成。



病棟業務



● 服薬指導・チェック

患者さんへ、新しい薬を服薬する場合、作用・副作用、飲む目的や注意点を説明。その後、正しい服用ができていないか副作用が出ていないか、定期的に患者さんの元を訪ねてチェック。

● 持参薬対応

患者さんが持参された薬の用法・用量・数を確認し、医師の指示のもと、薬をセット。また入院中に持参薬が切れた場合、院内で処方する薬が適切かどうかチェック。特に手術前は中止が必要な薬もある場合があるので注意する。



● 各病棟のカート業務

各病棟の救急薬と配置薬の点検・管理。

● 医師や看護師からの問い合わせ対応

● 点滴と内服薬の相互作用・重複の確認

● 患者さんに合わせた薬整理



特集 | 地域を支える 当院のアンサングヒーロー インタビュー

納得して治療を 受けてもらうために 薬剤師ができること

薬剤師 ● 中道 翔子

薬剤師歴 6 年目。病院薬剤師として 2 病棟、患者数約 50~60 名を担当。

薬剤師を志すきっかけ

私が中学3年生の頃、父が病気になり抗がん剤治療を行うことになりました。元々家族に医療関係者がいたので医療の道に進みたいと漠然とは考えていたのですが、この経験から治療の面で薬の存在の大きさを感じ、薬剤師を目指すようになりました。

薬局薬剤師・病院薬剤師の大きな違い

薬局薬剤師は、飲み薬などの内服薬や貼り薬などの外用薬を主に扱います。病院薬剤師はそれに加えて点滴薬剤、注射薬、抗がん剤を多く扱うので、そこに違いがあります。また患者様との関わりでは、薬局だと患者様が通院される時がメインとなり、長期間に

わたって関わることになるかと思いますが、病院では入院期間の限られた時間に一定期間関わり続けることになります。入院中は症状が変動することがあるため、状態に応じた対応を求められますし、退院後の生活を想定した薬剤指導を行うように心がけています。

服薬指導について

薬を処方通りに飲んでもらえないことは、本当に多いです。飲み忘れという場合もあるのですが、自己中断されることが多いのです。「もう症状が無いから」「良くなったと思う」「親戚が言っていたあの薬が良い」などご自身で判断されてしまい、気づいた



ら薬が飲まれていないというケースが多々あります。そんなときは、薬の必要性を何度も何度も患者様、必要に応じてご家族の方も巻き込んで説明させていただきます。以前にインスリン投与がなかなか上手くない患者様がいらっしや、何回も説明をさせていただきました。するとある日、投与の時間になると自主的にインスリンのパンフレットを開いて看護師を待っていた、というエピソードを聞いた時は通い詰めたかいがあったなと感じました。

薬剤師として貢献できること

医師がどれだけ良い薬を処方していても飲んでもらえないと体には効いてくれません。しかし、患者様によって治療に対しての考え方は異なり、私もそれを否定したり無理やり飲ませたいわけではありません。ただ当院での治療方針や薬について理解をしてく

い、納得いただいた上で治療に望んでもらいたい、それが一番の願いです。

患者様にとって私たち薬剤師は、話しやすいという印象をお持ちの方が多いようです。治療に対しての心配事や、医師には言いにくいなど思っていることを聞き、不安を解消するお手伝いができればと思います。

薬の服用は入院中だけではなく、退院して普通の生活に帰ってからが重要です。入院中に薬を正しく理解してもらい、治るまでは服用を続けてもらえるように頑張りたいですね。

そのためにも調剤や薬の管理はもちろん、他部署との情報共有・連携、そして時には医師や看護師と患者様の間に入り治療を進めるサポートと、多岐にわたる業務が必要とされますが、一つずつ大切に、薬剤師だからできることを行っていこうと思います。

薬剤部長 ● 加藤 恵一

熱心に勉強している新人薬剤師、そしてその新人を引っ張ってくれる先輩薬剤師など若いスタッフがとても頑張ってくれています。我々も応援する気持ちとともに、患者様の安心・安全のために薬剤部業務を遂行していきたいと思っています。

インタビュー・撮影／令和2年5月27日(水)

News

消化器・一般外科領域(ヘルニア)の内視鏡外科学会技術認定を取得

消化器・一般外科

水越医師の取得により、診療体制をさらに拡充いたします

このたび、当院の消化器・一般外科の水越医師が日本内視鏡外科学会技術認定【消化器・一般外科領域(ヘルニア)】を取得しました。

成人の単径ヘルニアに対する腹腔鏡手術は、従来の手術(足の付け根を数 cm 切る方法)よりも小さな傷で手術が行えるため、術後の痛みが少なく、早く社会復帰できることが期待されます。当院においても積極的に行っており、今回の水越医師の技術認定取得により、診療体制がさらに拡充されます。

今後もより良い腹腔鏡手術を、より多くの患者さんに提供できるように取り組んでまいります。



Event

生活習慣病教室について

当院では2ヶ月に1度、生活習慣病教室を開催しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者および関係者の健康と安全を最優先に考慮し、年内開催分は中止とさせていただきます。

何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。



休診のお知らせ

令和2年8月31日現在

耳鼻いんこう科

完全休診

■ 9月23日(水) ■ 9月24日(木)

皮膚科

完全休診

■ 9月25日(金)

眼科

完全休診

■ 10月15日(木) ■ 10月16日(金)

三重県立総合医療センター

検索

<https://www.mie-gmc.jp/>

都合により変更する場合がありますので、最新の情報をホームページ・お電話・メールにてご確認ください。



外来診療医師担当表

令和2年8月31日現在

診療科		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
総合内科	初診	三木	山田	岡崎	島田	森谷
	初診・再診	感染症外来 白木	血液・血栓外来 和田	白木		
消化器内科	初診	森谷	井上	山中	西浦/水谷	菅
	再診	井上	森谷	菅	山中	西浦
	再診		水谷		白木	腫瘍内科 齋藤
循環器内科	初診	動脈硬化・血管外来 牧野	加藤	増田	林	牧野
	再診	加藤	中澤	谷垣内	牧野	増田
	再診				中嶋	ペースメーカー外来
※消化器内科木曜日は西浦が第1・3・5週目、水谷が第2・4週目診察 ※循環器内科金曜日のペースメーカー外来は、増田が第2週目、加藤が第4週目のみ						
呼吸器センター	初診	吉田(紹介診)	吉田(紹介診)	藤原	寺島	児玉
	再診	後藤(初診)	伊藤(初診)	児玉	伊藤	三木
	再診	寺島		後藤	吉田	藤原
消化器・ 一般外科		1診/毛利	1診/渡部	1診/尾嶋	1診/毛利	1診(午前)/担当医
		2診/尾嶋		2診/水越	2診/橋本	
		3診/伊藤		3診/小林/佐藤		
※消化器・一般外科水曜日は小林が第1・3・5週目、佐藤が第2・4週目診察						
小児外科			2診/大竹(小児外科)			
乳腺外科		予約診/ 乳腺外来(山下)	3診/山下		3診/山下	2診/野呂
					予約診/ 乳腺外来(野呂)	予約診/ 乳腺外来(山下)
心血管外科/ 呼吸器外科		1診/近藤	1診/新保	1診/澤田		1診/澤田
		2診/庄村	2診/鈴木			
脳神経外科		1診/黒田	1診/後藤	1診/田代	予約診/担当医	1診/梅田
		2診/亀井	2診/田島			2診/亀井 午後予約制/ 脊椎脊髄外来
脳神経内科		初診(午前のみ)/ 鈴木	予約診/鈴木	初診/担当医 紹介予約制/ ものわすれ外来(交代制)	初診・予約診/鈴木	予約診/橋
		初診(午前のみ)/堀江	初診/橋		初診・予約診/西垣/堀江	初診/西垣
小児科		1診/杉山	1診/西森	予約/太田	1診/太田	1診/杉山
		2診/山口	2診/太田	予約/杉山	2診/西森	2診/鈴木
		3診/伊藤	3診/山口	予約/大森	3診/大森	3診/山口
			時間外・紹介/ 西森/鈴木			
産婦人科		1診(午前)/小林	1診(午前)/田中	1診/秋山	1診/朝倉	1診/手石方
		1診(午後)/ 母体胎児診断				
		2診(初診)/ 担当医(9:30~14:00)	2診(午前)/井口 2診(午後)/手石方	2診/谷口	2診(初診)/服部 午後/1ヶ月検診 2診(午後)/服部	2診/小林
		3診/担当医	3診(午前)/朝倉 3診(午後)/井口	3診/田中	3診/たんぼぼ (助産師)外来	3診/朝倉
	4診/たんぼぼ (助産師)外来	4診/秋山	4診/服部	4診/ リンパ浮腫ケア外来	4診(午前)/担当医	
整形外科		1診(午前)/ 北尾(紹介 膝、肩)	1診(午前)/ 北尾(膝関節外来(再診))		1診(午前)/ 奥山(再診)	1診(午前)/ 奥山(紹介、初診)
			1診(午後)/ 北尾(再診)		1診(午後)/ 奥山(再診)	
		2診(午前)/ 柿本(紹介、初診)	2診(午前)/ 服部(紹介、初診)		2診(午前)/ 矢田(紹介、初診)	
			2診(午後)/ 柿本(再診)		2診(午後)/ 矢田(再診)	
	3診(午前)/ 矢田(リハ、再診)	3診(午前)/ 柿本(リハ、再診)		3診(午前)/ 服部(リハ、再診)	3診(午前)/ 西村(リハ、初診)	
		3診(午後)/ 西村(再診)		3診(午後)/ 服部(再診)		
皮膚科	1診/石川	1診/加古 午後/褥瘡回診	1診/加古 午後/手術	1診/杉岡	1診/加古	
泌尿器科		1診/神田	予約診/ 堀(男性外来)	1診/松浦	1診/渡邊	1診/田中
		予約診/松浦		予約診/神田	予約診/田中	予約診/渡邊
		予約診/渡邊		予約診/田中	予約診/松浦/神田	予約診/松浦
※火曜日(男性外来)は、第1週、第3週、第5週のみ						
眼科		1診/佐宗	1診/佐宗(午後休診)	1診/佐宗	1診/佐宗	1診/佐宗
耳鼻いんこう科		1診/鈴村	1診/鈴村	1診/鈴村	1診/鈴村	1診/鈴村
精神科		1診/山下	1診/山下	1診/山下	1診/山下	1診/山下
放射線科		1診/佐貫	1診(午前)/ 渡邊	1診(午前は治療中の診察)/ 佐貫	1診/佐貫	1診/佐貫

※都合により、変更する場合がありますので、最新の情報をホームページ・お電話・メールにてご確認下さい。

地方独立行政法人
三重県立総合医療センター
MIE PREFECTURAL GENERAL MEDICAL CENTER
TEL.059-345-2321 (代表)

— 三重県立総合医療センターの基本理念・基本方針

» 基本理念

1. 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
2. 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

» 基本方針

1. 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
2. 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します。
3. 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
4. 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
5. 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

— 臨床研修基本理念・基本方針

» 臨床研修基本理念

「人の痛みがわかり、相手の立場で考えられる」など医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学や医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、日常診療で頻繁に関わる病気や病態に適切に対応できるよう、医師としての基本的な診療能力(態度、技能、知識)を身につける。

» 臨床研修基本方針

1. 患者及び家族とのコミュニケーション能力を習得し、医師としての人格を涵養する。
2. 全人的医療を実践することができるプライマリ・ケアの基本的診療能力を習得する。
3. チーム医療の一員としての役割を理解し、協調性をもってチーム医療を実践する。
4. 医療安全を理解し、安全な医療を遂行する能力を身につける。
5. 医療人としての倫理観を養成する。

編集：地方独立行政法人 三重県立総合医療センター広報紙編集委員会 令和2年・夏／発行号
〒510-8561 三重県四日市市大字日永 5450-132
TEL. (059) 345-2321 (代表) E-mail. sogohos@mie-gmc.jp URL. <https://www.mie-gmc.jp/>
表紙：薬剤部スタッフ写真 [令和2年5月27日(水)撮影]

ホーム
ページ



交通の案内



三重県立総合医療センター

検索

<https://www.mie-gmc.jp/>